83
441
K2J-59

世界音樂全集

GESAMMELTE WERKE
DER WELTMUSIK

36

教育唱歌集

門馬直衛編

春秋社版

1931.

S.NAKAMURA

E13720455 梅澤 敬一 2023/10/21 17:39:39

つばらーきんりかきーなーせーる
つのむーらだちかきーなーらーす

すみーゑーおーぼろにかすみのー
ことーのーねーたかしおもひぞー

みーこそたーちわたーりけれ
いーづるはーごろもーのきょく

旅愁.

犬童球渓作歌.

With feeling

78

ふけゆくあきのよたびのそらー
まどうつあらしにゆめもやぶー

のわびしきおもひにひとりなやむ
れはるけきかなたにこころまよふ

こひしやふるさとなつかしちーちはは ゆめぢにた
こひしやふるさとなつかしちーちはは おもひにう

E13720455 梅澤 敬一 2023/10/21 17:39:39

どるは　さとのいへぢ　ふけゆく　あきのよ
かぶは　もりのこずゑ　まどうつ　あらしに

たびのそら―の　わびしき　おもひに
ゆめもやぶ―れ　はるけき　かなたに

ひとりな　やむ
こころま　よふ

故郷の廢家.

Moderato

犬童球渓作歌

79

いくとせふるさときてみれば
むかしをかたるかそよぐかせ

さくはなくとりそよぐかせ
むかしをうつすかすめるみづ

E13720455 梅澤 敬一 2023/10/21 17:39:39

やさしき犀音.
ああ.
我が名呼び
歌ひてし
亡き母よ.
子守歌は
今もなほのこれる
我が胸深く.

【68】近江八景.

1. 三井寺のかねの音
すみ渡る夕暮,
はつ雁も堅田に
犀たてゝ落ち來ぬ,
ひとり立てる
唐崎の老松
雨か波か
淋しげにひびくは.
2. 今もなほ身に泌む
粟津野の秋風,
何方ぞ昔の
彙平のいしぶみ.
瀬田の夕日
ととしへに淋しく,
比良の暮雪
いつ見ても美し.
3. 月のかげさやかに
すみ登る石山.
千代かけて偲ぶは
紫のその筆.
やまだ矢走
みえ渡る名どころ
さしてかへる
舟の帆も三つ四つ.

【69】秋　　風.

1. 小野の小萩の咲きしより
深山下り來る早小鹿の
一聲近く一聲遠し
吹く秋風に泣られて.
2. あたり靜けき我庭に,
つづく岡べの夕まぐれ,
尾花は招き萩の葉かたる
吹く秋風に誘はれて.
3. 結ぶあさぢが露の玉.
人の何ぞと問はぬ間に
月かげこぼれ夕づつ消えつ
吹く秋風にそよがれて.

【70】田舍の夕暮.　(吉丸一昌作歌)

1. ゆふげの畑は　森をこめて
外山も深山も　うすれ行けば
入日も山邊に　急ぎゆく.
櫻の並木に　風寒く
辿るや馬子の　うたごえも
黄昏れそめたる　夕かな.
2. 夕空たどる　旅がらす
後や先なる　犀々や
ふりさけ見れば　山寺の
塔のいらかの　かげ黑く
ひとり靜かに　暮れ殘る
野路の里わの　ゆうべかな.

【71】海國の民.

1. 果てしも白波　霞にあけて
朝日こ輝く　光くしき海を.
ゆけよやゆけよ　海國の民
大船小船　裝ひなれり
行けよ行けよ　海國の民.
2. 紅匂へる　はた雲なびき
夕潮滿ちくる　おもしろき海を.
行けよや行けよ　海國の民,
盡きせぬ寶　汝をぞ待てる
行けよ行けよ　海國の民.
3. 荒ぶる風には　空をもひたす
波鼓打つ　勇ましき海を.
行けよや行けよ　海國の民,
富は滿ちたり　彼方の陸に.
行けよ行けよ　海國の民.

【72】船　　子.

1. やよふな子　こげ船を,
こげよこげよこげよこげよ.
やよ　船子.
2. 汐みちて,風なぎぬ.
こげよこげよこげよこげよ.
やよ,船子,

【73】月.

1. みつればかけそめ
かければみちて,
空行く月こそ
おかしきものよ.
2. 梅咲く春べは
霞にかすみ,
萩咲く秋にぞ
隅なく冴ゆる.

3. かすむもさゆるも
折りにしあへば,
みつれどかくれど
ながめはつぎず.

【74】才　　女.

1. かきながせる筆のあやに
染めし紫世世あせず,
ゆかりの色ことばの花
たぐひもあらじその綵.
2. まきあげたる小簾のひまに
君の心もしら雪や,
廬山の峰遣愛の鐘
目に見るごときその風情.

【75】野外の音樂.　(大和田建樹作歌)

1. 日の影　山にかくれて
暮れ行く　秋の野,
おもしろや　草間に
ひびき出でたる　樂の調べ.
あれこそ　今をさかりと
犀々歌へる　松蟲鈴蟲.
2. 嵐は松をはらひて
更けゆく　秋の夜,
さやけしや　そこここ
風に聞ゆる　物の音色.
あれこそ　冬のいそぎの
くだまく　蟲の音
機織る　蟲の音.

【76】惜　　時.

1. 花もみぢ散りぬれど
春も秋もまた來なむ.
ゆき螢消えぬれど
夏も冬もまた來なむ.
さはさなりさりながら
人の身にはは たいかに.
2. 水のごと流れつつ.
いにし年は歸り來ず.
矢のごとくはしりつつ
過ぎし年は歸り來ず.
惜しむべき年月や
つとめはげめ時のまも.

【77】名所の松.

1. 興謝の海　天の橋立春立てば,
天の浮橋末消えて　雲路あやふく
松原三里かきなせる　墨繪おぼろに.
霞のみこそ　立ち渡りけれ.
2. 有渡の海　三保の松原風清み
富士の神山　ひきはへし　雲の裳長く
松の群立かきならす　琴の音高し
おもひぞ出づる羽衣の曲.
3. みちのくの雪の松島おもしろや
島の八十島しろがねを　ちりばめつつも
松のうれごと十返りの　花さきつつも
海原のみぞみどりなりける.

【78】旅　　愁.　(犬童球溪作歌)

1. 更け行く秋の夜
旅の空の,
わびしき想ひに
ひとりなやむ.
戀しや故郷
なつかし父母.
夢路にたどるは
故郷の家路.
更け行く秋の夜
旅の空の,
わびしき思ひに
ひとりなやむ.
2. 窓うつ嵐に
夢もやぶれ,
はるけき彼方に
心まよふ.
戀しやふるさと
懐し父母
思ひに浮ぶは
杜の木ずゑ.
窓うつ嵐に
夢もやぶれ,
はるけき彼方に
心はこぶ.

【79】故郷の廢家.　(犬童球溪作歌)

1. 幾年ふるさと　來て見れば,
咲く花鳴く鳥　そよぐ風.
門邊の小川の　ささやきも
なれにし昔に　變らねど,
荒れたる我家に　住む人たえてなく.
2. 昔をかたるか　そよぐ風,
昔をうつすか　すめる水.
朝夕かたみに　手をとりて
遊びし友人　今何處.
淋しき故郷や　さびしき我家や.

【80】郊外散歩.　(山口重樹作歌)

春.

E13720455 梅澤 敬一 2023/10/21 17:39:39

世界音樂全集　第三十六卷

編纂者　門馬直衛
發行者　神田豐穗
發行所　合資會社　春秋社
東京市日本橋區通三丁目一六八
振替東京二四八六一

印刷所　清揚社
東京市牛込區矢來町六三

昭和八年十月十五日印刷
昭和八年十月三十日發行

非賣品

E13720455 梅澤 敬一 2023/10/21 17:39:39